



平成25年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「3産婦人センター医療機器整備計画」
引渡式

2015年1月22日、パナマ家族計画協会が運営するコロン市産婦人センターにおいて、磯部大使をはじめ、パナマ家族計画協会理事代表、同協会代表代理等の列席者の下、「3産婦人センター医療機器整備計画」の引渡式が行われました。

パナマ家族計画協会は、女性専用のトータルヘルスケアを提供するため、現在パナマ全国8箇所で産婦人センターを運営しています。中でも、コロン県コロン市、ベラグアス県サンティアゴ市、パナマ市ラ・ドニャ地区の産婦人センターでは、使用期間が15年を超え、すでに故障を繰り返していた旧型医療機器を所有していたため、増加傾向にある患者のニーズを満たす診察を行う妨げになっていました。

こうした中、日本政府は、上記3センターに、女性の保健・医療環境改善を目指して、デジタル超音波検査器、母体胎児用マルチパラメーター等の医療機器を整備しました。

今回の供与によって最新型の医療機器が整備され、各センター利用患者に対して、より効果的で適切な医療サービスを提供することが可能となりました。

【供与額：120,967米ドル】



引渡し式出席者との集合写真



供与されたデジタル超音波検査器